



## 2025年6月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年5月14日  
上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社  
コード番号 6571 URL <https://www.qbnet.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 泰男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 壁谷 勝吉 (TEL) 03-6433-7723  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第3四半期の連結業績 (2024年7月1日～2025年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	18,768	2.7	1,051	△36.7	902	△41.8	608	△43.6	608	△43.6	449	△61.3
2024年6月期第3四半期	18,274	11.1	1,660	28.7	1,551	32.0	1,078	32.8	1,078	32.8	1,163	47.1

  

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	46.33	45.49
2024年6月期第3四半期	82.39	80.37

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	32,703	14,277	14,277	43.7
2024年6月期	32,297	14,170	14,170	43.9

### 2. 配当

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期 (予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年6月期の連結業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,710	3.8	1,900	△10.2	1,750	△10.9	1,220	△6.3	1,220	△6.3	91.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社 (社名) QB HOUSE VIETNAM COMPANY LIMITED、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期3Q	13,145,600株	2024年6月期	13,123,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	157株	2024年6月期	123株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期3Q	13,128,351株	2024年6月期3Q	13,089,601株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

当社は、2025年5月16日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催予定であります。本説明会は会場開催とzoom参加のハイブリッド方式を予定しております。

また、決算説明会の内容については、後日当社ウェブサイトに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年7月1日～2025年3月31日)は、雇用及び所得の改善を背景に消費活動は持ち直しを続けております。しかし、非製造業を中心とした人手不足や、物価上昇による個人消費への影響があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。さらに、小売業においては賃金上昇や原材料費の高騰により経費が増加し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、2025年6月期を初年度とする5か年を対象とした中期経営計画「NEXUS」を策定し、人財投資とDX投資を促進することで、世界中で「いつもの」をどこでも実現できるサービスの提供ができるよう事業活動に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は18,768百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は1,051百万円(同36.7%減)、税引前四半期利益は902百万円(同41.8%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は608百万円(同43.6%減)となりました。

なお、当社グループは従来、各国でヘアカット事業のみを展開していることから「ヘアカット事業」の単一セグメントとしておりましたが、売上総額に対する海外子会社の売上の割合は年々増加しており、また、2024年8月に発表した中期経営計画の中では海外事業の強化を重要戦略の1つとしております。

当社グループは、2024年6月期において組織体制の見直しを行い、海外事業の損益管理、人財管理及びマーケティング戦略の立案・実行を強化するための準備を進めてまいりました。また、2025年6月期を初年度とする中期経営計画では国内事業及び海外事業の戦略を明確に分けていることから、第1四半期連結累計期間より、単一セグメントから「国内事業」及び「海外事業」の2つのセグメントに区分変更することといたしました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

#### <国内事業>

国内事業では、消費活動の回復に伴う非製造業の人員需給が依然として逼迫しており、一部地域においてスタイリストの不足が見受けられます。しかしながら、店舗人財の適正配置が進み下期以降に出店を強化していることから総稼働席数は増加し、前年同期を上回る水準を維持しております。上期の天候による影響等は残るものの、2025年2月の価格改定実施と併せて割引制度「ツキイチキャンペーン」を全年齢に拡大したこと等から、総じてカット需要は堅調に推移し、来店客数も前年同期を上回る水準となりました。

この結果、当セグメントの売上収益は15,156百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は962百万円(同37.7%減)となりました。

#### <海外事業>

海外事業では、厳しい市場競争が引き続き続いておりますが、シンガポールで来店客数が増加基調に回復し、2025年1月に価格改定を実施した香港・米国でも来店客数は堅調に推移いたしました。また、2024年8月にカナダのトロントで1号店をオープンしたことに続き、2025年1月にはベトナムのホーチミンに出店し、海外6拠点目の事業を開始しております。

この結果、当セグメントの売上収益は3,618百万円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益は88百万円(同23.7%減)となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	売上収益	セグメント利益	売上収益	セグメント利益
国内事業	14,860	1,544	15,156	962
海外事業	3,417	116	3,618	88

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## ① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、6,385百万円となりました。これは主として、営業債権及びその他の債権の減少198百万円、その他の流動資産の増加114百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ503百万円増加し、26,317百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加76百万円、使用権資産の増加351百万円、その他の非流動資産の増加67百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ406百万円増加し、32,703百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,546百万円減少し、5,534百万円となりました。これは主として、借入金の減少700百万円、未払法人所得税等の減少379百万円、その他の流動負債の減少425百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,846百万円増加し、12,891百万円となりました。これは主として、借入金の増加1,480百万円、リース負債の増加344百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ299百万円増加し、18,426百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し、14,277百万円となりました。これは主として、資本剰余金の減少346百万円、利益剰余金の増加608百万円等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、4,730百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、2,560百万円（前年同期は3,388百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益902百万円、減価償却費及び償却費2,640百万円等の計上に対し、未払費用の減少額417百万円、法人所得税の支払額706百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、1,028百万円（前年同期は530百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出834百万円、差入保証金の差入による支出143百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1,358百万円（前年同期は3,295百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入れによる収入2,000百万円等の資金増加要因に対し、短期借入金の返済による支出600百万円、長期借入金の返済による支出625百万円、リース負債の返済による支出2,273百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想に関しましては、2024年8月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,701	4,730
営業債権及びその他の債権	1,398	1,200
その他の金融資産	4	1
棚卸資産	233	149
未収法人所得税等	—	44
その他の流動資産	144	259
流動資産合計	6,482	6,385
非流動資産		
有形固定資産	1,389	1,465
使用権資産	5,933	6,284
のれん	15,430	15,430
無形資産	154	154
その他の金融資産	1,993	1,997
繰延税金資産	799	804
その他の非流動資産	113	180
非流動資産合計	25,814	26,317
資産合計	32,297	32,703
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	280	277
借入金	1,392	692
リース負債	2,611	2,605
未払法人所得税等	397	17
その他の金融負債	148	115
その他の流動負債	2,251	1,825
流動負債合計	7,081	5,534
非流動負債		
借入金	6,822	8,302
リース負債	3,306	3,651
その他の金融負債	49	47
繰延税金負債	20	26
引当金	831	849
その他の非流動負債	14	13
非流動負債合計	11,045	12,891
負債合計	18,126	18,426
資本		
資本金	1,352	1,360
資本剰余金	4,502	4,155
利益剰余金	7,733	8,341
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	582	419
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,170	14,277
資本合計	14,170	14,277
負債及び資本合計	32,297	32,703

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	18,274	18,768
売上原価	△13,969	△14,749
売上総利益	4,304	4,019
その他の営業収益	41	11
販売費及び一般管理費	△2,661	△2,972
その他の営業費用	△24	△7
営業利益	1,660	1,051
金融収益	17	17
金融費用	△127	△165
税引前四半期利益	1,551	902
法人所得税費用	△472	△294
四半期利益	1,078	608
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,078	608
四半期利益	1,078	608
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	82.39	46.33
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	80.37	45.49

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期利益	1,078	608
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	84	△157
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	—	△0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	84	△158
その他の包括利益合計	84	△158
四半期包括利益	1,163	449
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,163	449
四半期包括利益	1,163	449

（4）要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2023年7月1日残高	1,326	4,736	6,431	△0	312	67	379
四半期利益	—	—	1,078	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	84	—	84
四半期包括利益合計	—	—	1,078	—	84	—	84
新株の発行（新株予約権の 行使）	24	24	—	—	—	△10	△10
剰余金の配当	—	△260	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	24	△236	—	—	—	△10	△10
2024年3月31日残高	1,351	4,500	7,510	△0	397	56	454

（単位：百万円）

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2023年7月1日残高	12,874	12,874
四半期利益	1,078	1,078
その他の包括利益	84	84
四半期包括利益合計	1,163	1,163
新株の発行（新株予約権の 行使）	38	38
剰余金の配当	△260	△260
所有者との取引額合計	△222	△222
2024年3月31日残高	13,815	13,815

当第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の有効部分	新株 予約権
2024年7月1日残高	1,352	4,502	7,733	△0	526	—	56
四半期利益	—	—	608	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△157	△0	—
四半期包括利益合計	—	—	608	—	△157	△0	—
新株の発行（新株予約権の 行使）	7	7	—	—	—	—	△4
剰余金の配当	—	△354	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	7	△346	—	△0	—	—	△4
2025年3月31日残高	1,360	4,155	8,341	△0	368	△0	51

（単位：百万円）

	その他の資 本の構成要 素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
	合計		
2024年7月1日残高	582	14,170	14,170
四半期利益	—	608	608
その他の包括利益	△158	△158	△158
四半期包括利益合計	△158	449	449
新株の発行（新株予約権の 行使）	△4	11	11
剰余金の配当	—	△354	△354
自己株式の取得	—	△0	△0
所有者との取引額合計	△4	△342	△342
2025年3月31日残高	419	14,277	14,277

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,551	902
減価償却費及び償却費	2,565	2,640
減損損失	12	—
金融収益	△17	△17
金融費用	127	165
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△279	145
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△99	81
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△30	△24
未払費用の増減額 (△は減少)	△132	△417
その他	426	△57
小計	4,123	3,419
利息の受取額	6	4
利息の支払額	△121	△156
法人所得税の還付額	20	—
法人所得税の支払額	△640	△706
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,388	2,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△540	△834
無形資産の取得による支出	△28	△122
差入保証金の差入による支出	△65	△143
差入保証金の回収による収入	110	83
その他	△5	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△530	△1,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△400	△600
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△625	△625
セール・アンド・リースバックによる収入	111	483
リース負債の返済による支出	△2,159	△2,273
新株予約権の行使による収入	38	11
配当金の支払額	△260	△354
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,295	△1,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	△145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△365	29
現金及び現金同等物の期首残高	4,432	4,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,066	4,730

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「未払費用の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間において独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示しておりました294百万円は、「未払費用の増減額(△は減少)」△132百万円及び「その他」426百万円として組み替えております。

また、同じく「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「助成金収入」及び「助成金の受取額」は金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間において「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「助成金収入」△3百万円及び「助成金の受取額」3百万円は、「その他」に組み替えております。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループは従来、各国でヘアカット事業のみを展開していることから「ヘアカット事業」の単一セグメントとしておりましたが、売上総額に対する海外子会社の売上の割合は年々増加しており、また、2024年8月に発表した中期経営計画の中では海外事業の強化を重要戦略の1つとしております。

当社グループは、2024年6月期において組織体制の見直しを行い、海外事業の損益管理、人財管理及びマーケティング戦略の立案・実行を強化するための準備を進めてまいりました。また、2025年6月期を初年度とする中期経営計画では国内事業及び海外事業の戦略を明確に分けていることから、第1四半期連結累計期間より単一セグメントから「国内事業」及び「海外事業」の2つのセグメントに区分変更することといたしました。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎としております。

当社グループは、ヘアカット専門店「QB HOUSE」並びに多様なニーズに合わせた業態である「QB PREMIUM」及び「FaSS」の店舗展開により、ヘアカットサービスを提供しており、国内事業と海外事業に区分して管理しております。したがって、当社グループは「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。上記の報告セグメントの決定に際して、集約された事業セグメントはありません。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

(国内事業)

日本国内におけるヘアカットサービスの提供

(海外事業)

日本以外(アジア及び北米)におけるヘアカットサービスの提供

2. 報告セグメントの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	14,856	3,417	18,274	—	18,274
セグメント間の内部売上 収益	4	—	4	△4	—
計	14,860	3,417	18,278	△4	18,274
セグメント利益	1,544	116	1,660	△0	1,660

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	15,150	3,618	18,768	—	18,768
セグメント間の内部売上 収益	6	—	6	△6	—
計	15,156	3,618	18,775	△6	18,768
セグメント利益	962	88	1,051	△0	1,051

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	1,078	608
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,089,601	13,128,351
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加 (株)	329,417	242,661
希薄化後普通株式の期中平均株式数 (株)	13,419,018	13,371,012
基本的1株当たり四半期利益 (円)	82.39	46.33
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	80.37	45.49

(重要な後発事象)

該当事項はありません。